

専門部会議事内容結果（要旨）

専門部会名	第3回 総務・市民生活環境・教育文化スポーツ部会
開催日時	令和8年3月26日 18時30分 ～ 20時50分
開催会場	名寄市役所名寄庁舎4階大会議室
出席委員	出席委員：遠藤委員、今野委員、清水委員、伊藤委員、守岡委員、鳥谷委員、 猿谷委員（代理出席：町内会連合会副会長 久保 和幸 氏） 欠席委員：桑原委員、安達委員、松本委員
事務局 （出席者）	木村総務部長、石橋総合政策部長、松田市民部長、谷口消防署長、東総務課長、 福井市民課長、伊藤消防署庶務課長、櫻田総合政策室長、瀬野総合政策課長、 斉藤総合政策課主査、横澤総合政策課主事
審議事項	<p>1 開 会</p> <p>2 部会長挨拶（今野部会長） 3日前にもお集まりいただいた。 前回はあまり意見が出なかったが、意見を計画に反映していくことは大事なことである。活発な意見をお願いしたい。</p> <p>3 議 事 （1）前期基本計画基本目標Ⅰ・Ⅲについて ⇒各所管部署から内容を説明、説明後に意見を聴取</p> <p>（2）今後のスケジュールについて（福井市民課長） ⇒今週2回に渡り議論いただき感謝。 第4回目の部会では、いただいた意見を基に修正した計画の内容等をご確認いただく。 第4回の部会の日程調整表を机上に配布しているので、回答いただきたい。</p> <p>4 そ の 他</p> <p>5 閉 会</p>

<p>発言内容</p>	<p>○基本目標 I-1 市民主体のまちづくりの推進</p> <p>(当日の意見)</p> <p>■委員 行政で実施している内容への参加で行政ポイントを付与する取り組みも実施されている。DXの観点から「デジタルに馴染んでいる層」と「不慣れな層」のデータを可視化できたらいいのではないか。のるーとのウェブ広告のアクセス数は記録として見られる。そのようなデータも取っていったらいいのではないか。</p> <p>◎事務局 アンケートなどに行政ポイントを付与しているが、手続きの手軽さで回答数が増えたのかポイント付与を目的として増えたのか要因分析のデータはとれていない。アンケートには50ポイント付与している。</p> <p>○基本目標 I-2 人権尊重と男女共同参画の推進</p> <p>(文言の修正)</p> <p>・現状と課題の「地域づくりを進めます」⇒「地域づくりを進める必要があります。」というように修正したい。</p> <p>(当日の意見)</p> <p>■委員 女性が働きやすい環境作りは大事。企業などに対する啓発活動は形式上ではなく、実際に行っていくことが必要。名寄市でも今後若い女性が働きたいと思える啓発活動を実施して行って欲しい。</p> <p>◎事務局 委員会でも議論しており、女性の働く地位などについても議論している。年に一度セミナーを実施している。名寄市全体に浸透しているかというとまだまだだと感じている。色々な計画の中でも内容を組み込んでいきたい。</p> <p>○基本目標 I-3 デジタル・トランスフォーメーション (DX) の推進</p> <p>(当日の意見)</p> <p>■委員 Yorocaの活用について、当初はスマホの操作が苦手のためアプリを入れてくれという市民が多かったが、職員などで丁寧に説明をした結果、カードは1万9千枚、アプリは1万2千人使っている。Yoroca導入から3年間ですごく進んで来ており、優良事例と言える。この状況からデジタルディバイドについては一定程度対策は達成できているのではないか。今後はこの基盤を活かし、他分野との連携という次のステップへ進むべきではないか。</p> <p>◎事務局 デジタルディバイド対策として、現在、社会福祉協議会に委託し、ここほっとで社協の職員や大学生などにより、「スマホなんでも相談室」を開催している。高齢者の方が参加することが多く、世代間のコミュニティ形成の場としても実施している。デジタル活用の意識等について進んでいると話をしていただいたが、デジタルディバイド対策を引き続き行いながらDX推進に努めていきたい。</p> <p>■委員 SNSの活用も進んでいるし、施設のオンライン予約も出来る様になった。病院でマイナンバーカードの携帯機器対応が出来るといい。携帯機器だと顔認証ができるので便利。</p>
-------------	--

<p>発言内容</p>	<p>○基本目標 I-4 交流活動の推進 <u>(当日の意見)</u></p> <p>■委員 交流活動の中でスポーツの交流。イベント（スポーツ大会など）で色々な地域から人が来るので、どこかにそのような文言があるといいのではないかと。大阪体育大学との交流も始まっている。名寄らしい交流の形だと思ふ。どこかに記載があるといいのではないかと。</p> <p>◎事務局 スポーツによる関係人口は生まれている。大阪体育大学とも交流始まっている。自治体交流メインで記載をしているが、団体との交流の部分の記載について検討する。</p> <p>■委員 国際交流に大学で実施している内容は反映されないのか。インドネシアの受入れなども行っていると把握している。ここに記載すべきかはわからないが、どこかに記載していくべきものか。</p> <p>■委員 大学のコミュニティケア教育研究センターで行っているもの。体制は法人化によってどうなるか見えないところ。総合計画に載っている方が大学としても進めやすいことも考えられるのではないかと。</p> <p>■委員 国際交流について市が実施主体の事業に絞る必要はないのでは。</p> <p>◎事務局 令和9年度からの計画になるので、法人化後どうなるか見えない部分もある。国際交流の中で大学の存在も示せるように考えたい。</p> <p>○基本目標 I-5 広域行政の推進 <u>(当日の意見)</u></p> <p>■委員 人材確保、人材不足について、具体的な内容が見えない。他の部分は具体的な記載があるが。</p> <p>◎事務局 名寄市でいうと福祉施設の従業員が不足している。名寄市が中心となって外国人材の仕組みづくりを行っている。今後広域として取り組む所まで持って行けると良いとは考えている。なかなか現状計画上に記載するのは難しいものである。</p> <p>○基本目標 I-6 健全な財政運営 <u>(事前質問)</u></p> <p>・財源確保策についての具体案がわかりづらい</p> <p>◎事務局 財源確保策の具体案がわかりづらいとのご指摘だが、次のように改めることも検討する。「国や道などからの補助金・交付金については、各関係機関の情報に注視し、着実な歳入確保と新たな歳入の創出に取り組みます。市税については収納率の向上を図り、未収の発生を防止するとともに受益者負担の適正化の観点から使用料・手数料の見直しや財産収入などの強化策について検討を行います。また、ふるさと納税については積極的に事業の展開を行うことで自主財源の確保・充実に努めます。」</p>
-------------	---

発言内容	<u>(当日の意見)</u>
	■委員 本日の「名寄市における財政課題」の説明から、厳しい財政状況ではあるものの、市庁舎や消防署を含めて老朽化している公共施設の議論を進めて欲しい。
	<u>○基本目標Ⅰ-7 効率的な行政経営</u>
	<u>(文言の修正)</u>
	・現状と課題の「集中と選択」⇒「選択と集中」に修正
	<u>(当日の意見)</u>
	・意見無し
	<u>○基本目標Ⅲ-1 環境との共生</u>
	<u>(事前質問)</u>
	・子どもから高齢者の市民の中で、どれだけの人が「ゼロカーボン」について認知しているのか。
	◎事務局 広報なよろにおいてゼロカーボンアクションの連載を行っている。出前トークのメニュー化もしており、ピヤシリ大学等でも実施している。 市民公募によりロゴマークも選定したところ。 どのくらいの人が認知しているかなどアンケートは実施してないので、今後必要になってくるとは思っている。
	<u>(当日の意見)</u>
	■委員 EVの補助や設備補助は現在の財政状況では厳しいので、行動変容を促す啓発事業を実施しているという認識でよいか。
	◎事務局 事業に対する財政措置がなかなか無い状態であり、啓発事業が限界というのが現状である。 市の単独事業としては取り組みづらいというのが現状である。
<u>○基本目標Ⅲ-2 循環型社会の形成</u>	
<u>(文言修正)</u>	
現状と課題の「下水との共同処理への移行を進めていきます。」⇒「下水との共同処理への移行の検討を進めていきます。」に修正したい。	
<u>(当日の意見)</u>	
・意見無し	
<u>○基本目標Ⅲ-3 消防・救急体制の確保</u>	
<u>(当日の意見)</u>	
・意見無し	

<p>発言内容</p>	<p>○基本目標Ⅲ-4 防災対策の充実</p>
	<p><u>(当日の意見)</u></p>
	<p>■委員 他自治体で防災アプリの導入に携わっていた。防災アプリの導入には国の補助金もある。災害時の状況や対応など日本人には伝わるが外国人には伝わりにくい部分があるため、多言語対応ができるアプリは有効な手段と考える。今回の計画の記載内容は基盤整備であると認識しているが、いずれこうしたアプリのような内容が入ってくると嬉しい。</p>
	<p>◎事務局 デジタル技術の活用も防災対策の一つとして重要であるとは認識しているが、現在は、地域防災力の向上、体制強化が優先と考えている。昨年は数年ぶりに市民対象の避難訓練を実施した。次年度も訓練を実施する予定。こうした防災意識の醸成への取り組みから進めていきたい。</p>
	<p>■委員 防災資材の準備は重要だが、災害が無かったときの使い道を考えることも重要。そのため、導入にあたっては、フェーズフリーの視点も考えてほしい。</p>
	<p>■委員 災害が起きたときに住んでいる地域によって避難所などが設定されているが、数年前の災害時に大学生は、自分が住んでいる地域の避難場所に行くべきか、大学に行くべきかわからないことがあった。大学生の対応に考慮して防災を検討して欲しい。</p>
	<p>◎事務局 市外出身の大学生も多いことから大事な視点だと思う。今後、大学事務局と連携して考えていきたい。</p>
	<p>○基本目標Ⅲ-5 生活安全対策の推進</p>
	<p><u>(当日の意見)</u></p>
	<p>■委員 ヒグマ被害が切迫した状況になっている。そこについて触れる必要があるのではないか。</p>
	<p>◎事務局 計画の別分野（IV-2森林保全と林業の振興）でヒグマ対策について記載しているが、生活安全としての視点について表現されているか改めて整理する。</p>
	<p>■委員 山岳事故について対策必要ではないか。 スキー場の職員から少しずつ体制は整ってきていると聞いている。 体制の整備について観光の分野などでも検討していくべきでは。</p>
	<p>◎事務局 名寄消防署においてはピヤシリスキー場周辺の山岳に知見のあるスノーモビル協会と協定を結ぶなど対応が進んでいる。遭難捜索は北海道警察の所管となるが、捜索の際には連携をしながら対応を行っている。</p>
	<p>■委員 交通安全の部分で一時停止がどちらもない十字路がある。</p>
	<p>◎事務局 道幅や交差点までの距離など、色々な基準があり、一時停止の表示が必要ないと判断されることがある。</p>
<p>■委員 認定こども園と市立病院の付近であるので、危険だと思っている。</p>	
<p>◎事務局 公安との調整になるが、要望などは行っている。</p>	

<p>発言内容</p>	<p>■委員 自転車の法整備があったが、その啓発なども令和9年度から実施していくのか。</p> <p>◎事務局 いわゆる自転車の青切符の導入が予定されている。警察が取り締まりを強化していく。</p> <p>自転車に特化するかはわからないが、啓発は行っていかなければならないと感じている。市職員向けには既に周知を行っている。</p> <p>■委員 大学生向けのワークショップやアンケートで街路灯が暗いという意見が多い。</p> <p>道路施策になると思うが、どこかで考慮いただきたい。</p> <p>◎事務局 大学生の意見を知らない可能性もあるので、是非担当部署に意見を寄せて欲しい。</p>
-------------	---